

令和4年度 こども園（保育園）関係者評価
施設評価シート
子育てセンターしばもと

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価
評価日時： 令和5年 2月 9日（木） 9：30 ～ 11：00

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

「思い合うこどもたち」～いっぱい愛されて～
1. 元気もりもり 2. 心きらきら 3. 遊びわくわく

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

令和4年度 重点目標 かがやこう じぶんらしく

今年度は、子ども一人ひとりを受容して、子どもの表れに合わせた対応ができるようにし、子どもが不安や葛藤を乗り越えて、自己発揮していく姿を見守っていく。子どもたちの気持ちの変化や心の揺れ動きを受け止めて、より丁寧な関わり方を職員同士が共有し、子ども達一人ひとりが輝ける教育・保育を展開していきたい。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	3	職員は、重点目標について振り返る機会があり、意識をして教育・保育を行うことができていた。 保護者に対しては、4月の保護者説明会で重点目標について説明したが不十分だった。利用者満足度調査で、わかりやすく説明しているかの設問に対して、満足51% ほぼ満足45%のため。	2	4月に園から重点目標の取り組みについて説明を行っているが、その点について意識していない保護者は多いと思う。今回、委員に参加することで、日々先生方が子ども達の事をよく見て取り組んでいることが分かった。今後保護者への発信の改善が必要なため2とした。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	子ども同士の遊びを見守り、関わり方を伝えることで、相手の気持ちに気付く子どもの姿が見られるようになった。 人の話を聞く姿勢は、少しずつ育っている。これからも人の話を聞く大切さに気付けるよう、伝える側も工夫していく。 生命の大切さについて触れる機会が少なかった。年間通して飼育等を取り入れ、生命の大切さに気付く体験を継続して積み重ねられるように環境を整えていく必要性を感じたため。	3	生命の大切さについて触れられていない報告があったが、野菜を育てたりカタツムリの世話をしていたことが確認できた。昔の様に生き物を育てるのは難しい。野菜を育てるなど、家庭で経験するのは難しいので、今後も生命に触れる機会を作れると良い。ほぼ達成していただくため3とした。
III. 子どもにとっては 1. そのらしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	クラスのカンファレンス、職員会議等で子どもたちのエピソードを出して考え、他クラスとも共有することで個人差も認めながら丁寧に対応することができていた。 これからも心行くまで自然に触れて遊び込めるように、子どもたちの目が輝くように遊びを工夫して提供していきたい。	4	クラスカンファレンスを行うことで、子どもの輝きを積極的に見ようとする意識ができる。そのシステムが出来ているため4とした。

<p>IV. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	3	<p>挨拶を丁寧にして、保護者が気軽に相談しやすい雰囲気を作ることを心掛けた。コロナ禍前ほど保護者が教育・保育に参加する機会は少ないが、行事については「参加できて良かったです」と言う声をいただいた。</p> <p>園からの情報（掲示・おたより・ブログ等）園の活動の様子は伝わっていますかの設問に対しては、満足：38% ほぼ満足：47%で保護者によって満足度や受け取り方に差があるため。</p>	3	<p>送迎の時など、先生から声をかけてくれて話しやすく、子どもの様子を教えてくれてありがたい。先生たちが子どものことをよく見てくれていることがわかる。行事も増えて嬉しい。保護者の立場としては、満足度の個人差があるため3とした。</p>
<p>V. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<p>園と併設して子育て支援ひろば”そよかぜ”があり、くすくすやびっぴ等で情報発信することで地域の方が気軽に利用したり、妊婦支援、児童発達支援など、必要な支援の窓口となっている。</p> <p>支援ひろば利用者や地域の方等の来園者にも園の雰囲気や伝わるよう、丁寧な挨拶と相談に対応したため。</p>	4	<p>上の子の時に支援ひろばに遊びに来て、園庭も広くのびのび遊べそうで入園希望を出した。支援ひろばの先生も話しやすい。十分達成されているため4とした。</p>
<p>VI. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	3	<p>職員同士が尊重し合い、相手の得意分野を活かしたり、苦手分野は協力して行うことができていた。これからは、経験年数の少ない職員も主体となり活躍する場を増やしていきたい。</p> <p>快適な職場づくりとしては、整理整頓、掃除、使ったものは元の場所へ物を戻すなど、職員一人ひとりが園内の環境にも目を向けて気付いて行動する意識は出てきたが、今後の課題としてあげられたため。</p>	4	<p>スタッフが働きやすい園は子どもの幸せにもつながっている。しばもとの先生方はみんな穏やかだと思う。言葉遣いをはじめ、先生同士が仲が良いのが伝わってくる。誰が担任か分からないくらい、子どもの様子をたくさん先生方が伝えてくれているため4とした。</p>